

道徳科 小学校第4学年 単元名：よりよい友達になるために（全3時間）

授業者：東中筋小学校 依光 峰登 児童：6人

【単元のねらい】

友達とのよりよい関係の在り方を考えることを通して、友達と互いに理解し助け合い、友達を信頼しようとするのが本当の友情であることに気付き、友達との信頼のきずなを大切にしようとする道徳的心情を育む。

【単元を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・言葉や態度一つでお互いの気持ちが変わることもあるので、誤解を与えないような言葉や相手の顔を見て話を聞く態度を大切に、相手を思いやる気持ちを持つようにしたい。
- ・苦手だからと言って仲間外れにするのではなく、友達のことを認め、苦手なことも励まし合って、学級の仲間と協力することが大切だと思った。
- ・友達に注意や忠告をするのは勇気があるけど、友達を信頼して、本音で話ができる関係が本当の友情であることに気付いた。

単元構想

時	実施日（時限）	主題名・内容項目（関連項目）	教材名（出典）	主な学習活動
1	11月12日 (2校時)	真心を伝える 【親切、思いやり B(6)】	真心を伝えるコミュニケーション (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの場面のやり取りについて、役割演技を通して考える。</li> <li>・伝わり方の違いについて考える。</li> <li>・真心を伝えるコミュニケーションとはどういうものか考える。</li> </ul>
2	11月19日 (2校時)	友達と助け合う 【友情、信頼 B(9)】	同じ仲間だから (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの勝利を望む気持ちと友情や正義との間で葛藤するとも子の心情を想像する。</li> <li>・かおりの手紙を読んだとも子の気付きについて考える。</li> <li>・かおりの仲間外れを許さない態度の根底にある心について考える。</li> <li>・とも子への共感を通して、友達と仲良く助け合うことのよさについて考える。</li> </ul>
3	11月27日 (5校時) (本時)	信頼のきずな 【友情、信頼 B(9)】	絵葉書と切手 (廣済堂あかつき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろ子の思いを想像する。</li> <li>・母と兄の意見の間に揺れるひろ子の葛藤を捉える。</li> <li>・愛子についてのひろ子の思いを考える。</li> <li>・ひろ子の決断から、ひろ子と愛子の友情について考える。</li> </ul>

【主題名】信頼のきずな

【友情、信頼】B-(9)

【教材名】 絵葉書と切手 （廣済堂あかつき）

【本時のねらい】

料金不足を伝えることを決めたひろ子の思いについて考えることを通して、友達を信頼しようとするのが本当の友情であることに気づき、友達との信頼のきずなを大切にしようとする道徳的心情を育む。

【指導の要点】

ひろ子のもとに届いた絵葉書は、愛子からの友情が形を変えた「友情のしるし」としての絵葉書であることを押さえ、兄と母の考えのどちらにすべきか、考えているひろ子を確認し、迷った末に「信頼」を大切にしたいひろ子の思いに共感させる。そして、これまで築いてきた愛子との関係を思い起こさせ、愛子への信頼が、ひろ子に「きっとわかってくれる」と思わせていることを押さえることで、望ましい友情の在り方について考えを深めていく。

【主題に関わる児童の実態】

- ・学習で困っていると分かるまで教えてあげたり、係活動を決める時などは譲り合ったりして、友達に優しくかかわることができる児童が多い。
- ・親切にすることで褒められたいという思いもあり、まだ相手の立場や状況をよく考えて行動するまでには至っていない。
- ・「時計係」の学習では、友達がかわいそうだから本当のことを言わない方がよいと考える児童が多くいた。

【授業を通して引き出したい児童の考え】

- ・相手に本当のことを伝えると、友達が嫌な思いをして、関係が悪くなるかもしれない。
- ・友達が同じ間違いをして、他の人に迷惑をかけてしまうかもしれないから、本当のことを教えてあげるべきだと思う。
- ・本当の友達なら自分の思いを分かってくれると思うから、本当のことを伝えよう。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

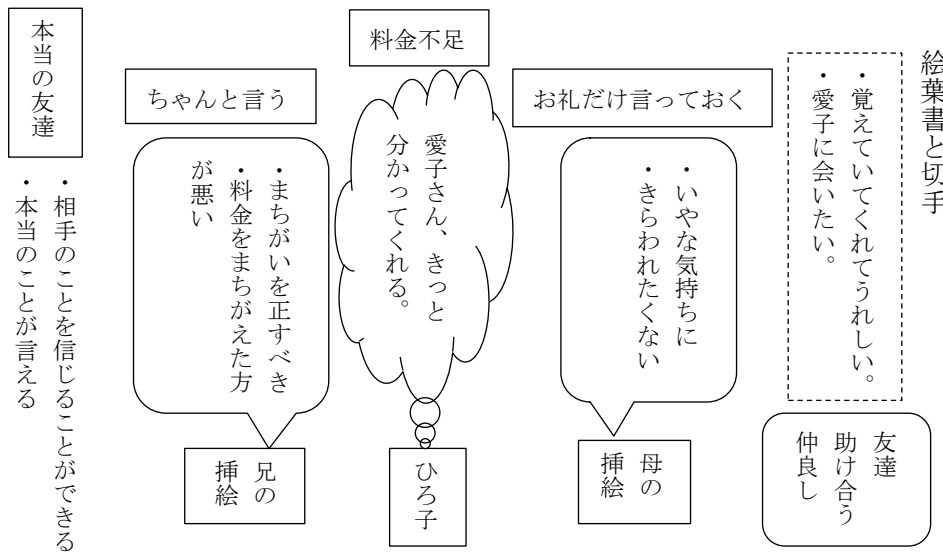
- ・導入で前時までの振り返りをし、友達とはどういうものかを取り上げる。
- ・ひろ子の料金不足を返信に書く行為の選択について、その理由を述べさせ、自分事として考えさせる。

多面的・多角的に捉えるための工夫

- ・料金不足を伝える手紙を書き、それぞれの思いやりのある伝え方について交流し、多面的に広げる。
- ・学習の振り返りの意見に対して児童から意見を返させ、友達についての考えを交流する。

主題に迫るための工夫

- ・本当のことを伝えられて友達は嫌な思いをしないのか、またこのまま黙っていてもいいのかと問い返し、思考を揺さぶって主題に迫る。
- ・本当の友達とは何かを考え、よりよい友達関係をつくっていくために大切なことを考える。



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
導入	<p>1. 前時までの学習を振り返る。 ○前時の「同じ仲間だから」では、どんなことを学習しましたか。 ◆友達とは、どんな人ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間外れはよくない。同じ仲間だから助け合わなければいけない。</li> <li>・仲の良い人。</li> <li>・困っていたら助けることができる人。</li> </ul>
展開	<p style="text-align: center;">テーマ：「友達とは」</p> <p>2. 教材の前半を読み、2つの意見の間で揺れるひろ子の葛藤を捉える。 ○ひろ子は何を迷っているのでしょうか。 ○この後、ひろ子はどうしたと思いますか。そう考えた理由も発表しましょう。 ◆本当のことを伝えられて友達は嫌な気持ちにならないかな。 ◆本当のことを伝えないままでいいのかな。また同じ間違いをしないかな。</p> <p>3. 教材の後半を読み、ひろ子の決断からひろ子と愛子の友情について考える。 ◎ひろ子が「愛子さんは、きっと分かってくれる」と思ったのはどうしてですか。 ◆ずっと友達だと心が通じるのかな。 ○どのような伝え方で料金不足のことを手紙に書けばよいのでしょうか。ひろ子になったつもりで手紙を書いてみよう。</p> <p>4. テーマ「友達とは」について考える。 ○「本当の友達」とは、どのような人だと思いますか。それは、どうしてですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お礼だけを言うべきか、料金不足を伝えるべきか。</li> <li>・料金不足を伝えたら、心が狭いと思われるかもしれない。</li> <li>・本当のことを言って、友達に嫌われたくない。</li> <li>・料金不足を伝えないと他の人にも送ってしまうかもしれない。</li> <li>・正しい切手代を知っておかないとこれから困ることになる。</li> <li>・友達だからこそ本当のことを伝えるべきだと思う。</li> <li>・友達だから私の思いを分かってくれる。</li> <li>・私を嫌いになったりしない。愛子さんのことを信じよう。</li> <li>・1年からの仲よしだから、心が通じていると思う。</li> <li>・相手のことを考えて信じるのが心を通わすことだと思う。</li> <li>・すてきな葉書をありがとう。他の人にも間違えて送ったらいけないので伝えておくね。大きな葉書は120円切手を貼らなければいけないようです。知っておいてね。じゃあ、来年の夏休みには会いたいね。</li> <li>・相手のことを信じるができる人。</li> <li>・本当のことが言える人。</li> </ul>
終末	<p>5. 振り返りをする。 ○友達について考えたことをワークシートに書いてみましょう。 ・振り返りを交流させ、感想を述べさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当の友達なら少しのことで仲が悪くなることはないから、相手のことを信じて、本当のことを伝えるようにしたい。</li> </ul>

【評価の視点】

自決断したひろ子の心情を自分に置き換えて考え、友達を信頼することについて、自己との関わりで考えを深めている発言や記述が見られる。

多2つの意見の間で迷っているひろ子の心情を、様々な視点で捉え考えている発言や様子が見られる。